

## 事業者向け 放課後等デイサービス自己評価表

ぱれっと追分R7.3

		チェック項目	改善目標、工夫している点など
・ 体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	・広くないので整理整頓を心がけている。 ・利用定員を調整したり、駐車場スペースを活用している。 ・個室が人気なので密にならないように人数を決めて使用している。
	②	職員の配置数は適切であるか	・人数が多いと活動スペースが狭くなるため、提供する遊び(集中できるもの、駐車スペースを使うもの)をするようにしている。 ・送迎回数によりフロアの安全管理がギリギリに感じる日もある。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	
業務改善	④	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	・情報を共有し、支援に必要なことを話し合ったり、支援に繋げてもらっている。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	・保護者からお聞きした意向について、早めの対応を心がけ話を伺っている。 ・前回のアンケートから防災訓練や保護者へのアプローチを増やして対応している。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	・HPで毎年必ず行っている。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	・法令で決まっている研修 スタッフ持ち回りや外部研修などは要改善 ・月に一度研修がある。
適切な支援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	・日々の気づきを共有し、子どもの課題の見直し、新しい提案を心がけている。 ・スタッフから意見を聞き、本人・保護者と話をしている。 ・ヒアリングした内容をスタッフ間で共有している。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	・グループで共有ではないが、適切なものを使っている。 ・上司のアドバイスのもの、都度準備をしているので、支援員が共通して対応できるツールがあるといい。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	・行事は話し合って決めている。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	・ご本人の成長に合わせて変更している。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせさせて放課後等デイサービス計画を作成しているか	
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	・朝のミーティング、スタッフ会議(1回/月)を行い、スタッフ・子ども情報共有をしている。 ・朝礼において、支援することは確認しているが、支援についての役割分担については支援員に偏りがあるので段取りをしっかりとしたい。
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	・必ずではないが共有する機会は今もっている。
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	
	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	・半年に一回のペースで実施

	⑱	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか	・自分自身がまだ熟知出来ていないところが多いので組み合わせ方を考えていく。
関係機関や保護者との連携	⑲	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	
	⑳	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	・挨拶、情報収集、送迎が遅れるなど関わる機会ですっきり対応している。
	㉑	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	・該当者がいない。・該当者はいないが対応できるように整えていく(アレルギーの子の対応は引き続き行う)
	㉒	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	・情報提供をしてもらったことはある。 ・今後は行っていきたい。 ・上司が行っている。細かな部分をもっと知れる機会があるとよい。
	㉓	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供しているか	・今のところないが、問い合わせがあれば対応できる用意はある。
	㉔	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	・部外での研修会があれば、積極的に参加したい。 ・清水区放デイ事業所連絡会が企画する研修を受けることがある。
	㉕	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	・公園や外出先などで挨拶する程度。 ・まだ行ったことがない。機会を持てるようにしたい。
	㉖	(地域自立支援) 協議会等へ積極的に参加しているか	・清水区放デイ連絡会から課題をあげている。・情報を得られるよう足を運んだりSNSで知れた学び・講演会にはこれからも参加したい
	㉗	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	・日々の様子、放デイ以外での様子、新しい課題なども定期的に話題に出している。
	㉘	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	・対策を準備していく。
保護者への説明責任	㉙	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	
	㉚	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	・送迎時等の時間を使って対応している。
	㉛	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	・今年度は2回保護者会を実施した。
	㉜	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	・苦情受付 & 解決担当者が迅速に対応している。
	㉝	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	・SNS(Facebook インスタグラム LINE)で発信している。
	㉞	個人情報に十分注意しているか	・必ず同意をいただいている。
	㉟	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	

	③⑦	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	・会社では運営を図っていると思う。事業所としては近隣の方との接点を持つ機会を作りたい。
非常時等の対応	③⑧	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	・緊急時、感染症流行時、災害発生時にメールやSNSで発信をしている。
	③⑨	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	・12月に防災訓練を実施
	④⑩	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	・研修を行っている。人によって受け取り方は違うため、言葉の暴力になってしまうこともあると思う。適切な対応ができるよう注意していく。
	④⑪	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	
	④⑫	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	・該当する児童は現在いません。
	④⑬	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	・些細なことも報告しあい、記録として残していく必要がある。